

勲五等双光旭日章・名誉町民・元忠類村議会議長

# 古住 基さんふる ずみ もと 逝去しよ

村議会議長を28年 忠類村いしづえの礎いしづえを築く



幕別町名誉町民の古住基さん(忠類東宝)が10月22日、療養先にて逝去されました。享年97歳でした。

古住さんは大正5年に北海道有珠郡壮警村にて生まれ、学業を修められた後は家業の農業に従事されておりました。戦争により昭和11年に軍隊に召集され国防の任に就かれました。昭和19年に結婚され、兵役を終えた後は、昭和21年11月に忠類に移り住み農業に従事されました。

古住さんの円満な人柄と高潔な人格は、多くの地域住民から衆望を得るものでした。

昭和24年9月忠類村議会議員に初当選し、以来、議会副議長を10年余り、議会議長を28年の長きに渡り歴任し、通算して11期43年間を議会議

員として、幾多の難問を克服し、地方自治の振興に尽力されました。また、財政の運営にも強い関心を持ち、健全財政の助言指導を行うなど、忠類村の礎を築かれました。

十勝そして北海道の議会運営のあり方などにも強い関心を示され、強力なリーダーシップのもとに、十勝町村議会議長会の役職にも就かれ、昭和62年5月から平成3年5月までの4年の間、会長として識見と手腕をもって遺憾なくその力量を発揮し、北海道町村議会議長会評議員の役職にも就かれるなど、道内の議会運営および連絡調整に多大な貢献をされたほか、忠類村監査委員、忠類村農業委員会会長、忠類村開拓農業協同組合組合長理事、忠類村共済組合理事、忠類村森林組合組合長理事など、幾多の要職を多年にわたって担われ、自治、教育、産業、福祉など多岐の分野において、常に広い視野に立ち、公平無私な立場からまちづくりの推進役を果たされました。

このような数多くの功績が認められ、昭和15年に勲七等青色桐葉章、平成6年に勲五等双光旭日章、平成8

## ふるさと寄付をいただきました

指定された事業で有効に使わせていただきます。

◇古住 きみ江 様(忠類白銀町)  
100万円(11月1日)



年に忠類村名誉村民の称号が授けられ、平成18年の合併により幕別町名誉町民となりました。

忠類村議会議長勇退後は、町政を側面から支援される傍ら、在職時代からの趣味である、ナウマン吟社なうまんぎんしゃにおいて俳句の活動にいそしまれ、全国の俳壇で数多く入賞される「農民俳人」として高い評価を受けていました。現在もその作品は、多くの方に親しまれています。

葬儀は幕別町・忠類東宝公区合同葬にて忠類コミュニティセンターでしめやかに執り行われ、多くの参列者が故人のご冥福をお祈りしました。

